

2015年度 第3四半期 決算概要

I. 2015年度 第3四半期 連結業績概要

2015年度 通期予想

II. セグメント別情報

III. 補足資料

シャープ株式会社

2016年2月4日

【見通しに関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、シャープ株式会社及び連結子会社（以下、総称して「シャープ」という）の計画、戦略、業績など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は過去または現在の事実ではなく、現時点で入手可能な情報から得られたシャープの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、シャープの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、シャープが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えうるリスク、不確実性及びその他の要因としては、以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- (1) シャープの事業領域を取り巻く経済情勢
- (2) シャープの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- (3) 為替相場の変動（特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場）
- (4) 諸外国における貿易規制等の各種規制
- (5) 他社との提携、アライアンスの推進状況
- (6) シャープに対する訴訟その他法的手続き
- (7) 製品やサービスについての急速な技術革新 など

※本資料の記載金額は、億円未満切り捨て表示としています。

I . 2015年度 第3四半期 連結業績概要 2015年度 通期予想

SHARP

1

- ・ 本日はご多忙な中、お集まり頂きありがとうございます。
また日頃は、当社の広報(IR)活動にご協力頂き、まことにありがとうございます。
- ・ それでは、お手許にお配りしておりますパワーポイント資料に沿って、説明いたします。

2015年度 第3四半期 連結業績概要

- ・2015年度 第3四半期、売上高は前年同期比13.0%減の6,633億円
- ・エネルギーソリューションの下振れを他部門がカバーし、ほぼ想定通りの着地
- ・構造改革も着実に進捗

(単位:十億円)

	2014年度	2015年度					
	3Q	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q累計	前同比
売上高	762.7	618.3	661.3	663.3	-13.0%	1,943.0	-7.1%
営業利益 (利益率)	22.0 (2.9%)	-28.7 (-4.7%)	3.5 (0.5%)	-3.8 (-0.6%)	-	-29.0 (-1.5%)	-
経常利益 (利益率)	7.3 (1.0%)	-33.3 (-5.4%)	-5.2 (-0.8%)	-14.1 (-2.1%)	-	-52.8 (-2.7%)	-
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (利益率)	-11.9 (-1.6%)	-33.9 (-5.5%)	-49.6 (-7.5%)	-24.7 (-3.7%)	-	-108.3 (-5.6%)	-

SHARP

2

- ・まず、当第3四半期の連結業績概要です。
- ・売上高は前年同期比 13.0%減の6,633億円、
営業利益は▲38億円、
経常利益は▲141億円、
親会社株主に帰属する四半期純利益は▲247億円となりました。
- ・エネルギーソリューションでポリシリコンの評価替えを行いました、
他部門がカバーし、全体では、ほぼ想定通りの結果となっています。
また、構造改革も着実に進捗しています。

2015年度 通期予想

- ・第3四半期までの業績、足下の状況並びに今後の見通しを踏まえ、通期予想は据え置く
- ・セグメント間での見直しを行う
- ・「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」の業績予想は、現在推進あるいは検討中の構造改革が具現化し、合理的な算定が可能となった時点で公表する予定

(単位:十億円)

	2015年度					
	1Q-3Q 累計実績	前同比	4Q予想	前同比	通期予想	前年比
売上高	1,943.0	-7.1%	756.9	+8.8%	2,700.0	-3.1%
営業利益 (利益率)	-29.0 (-1.5%)	-	+39.0 (5.2%)	-	10.0 (0.4%)	-

SHARP

3

- ・次は、2015年度の通期予想です。
- ・セグメント間の見直しは行うものの、第3四半期までの業績、足下の状況並びに今後の見通しを踏まえ、前回予想を据え置いています。
- ・なお、「経常利益」、「親会社株主に帰属する当期純利益」については、現在推進あるいは検討中の構造改革が具現化し、合理的な算定が可能となった時点で公表する予定です。

営業外損益・特別損益・法人税等の概要

(単位:十億円)

	2015年度					
	1Q	2Q	3Q	前同 増減額	1Q-3Q 累計	前同 増減額
営業利益	-28.7	3.5	-3.8	-25.9	-29.0	-80.2
営業外損益	-4.6	-8.8	-10.2	+4.3	-23.7	+9.3
内:支払利息	-5.5	-4.4	-4.5	+1.1	-14.5	+2.9
持分法による投資利益	+1.7	+1.3	-0.1	-0.8	+2.8	-1.8
経常利益	-33.3	-5.2	-14.1	-21.5	-52.8	-70.9
特別損益	+3.0	-39.6	-4.0	+0.9	-40.6	-38.4
内:投資有価証券売却益	+1.7	+0.0	-0.0	-5.7	+1.8	-9.8
訴訟損失引当金戻入額	+2.0	-	-	-	+2.0	-17.1
受取和解金	+6.2	+0.8	+1.3	+1.3	+8.5	+8.5
減損損失	-6.5	-4.6	-2.7	-0.7	-13.8	-9.4
事業構造改革費用	-	-35.3	-1.4	+7.5	-36.7	-22.0
解決金	-	-	-	-	-	+14.3
税前利益	-30.3	-44.9	-18.1	-20.5	-93.4	-109.4
法人税等 他	-3.6	-4.7	-6.5	+7.7	-14.9	+8.2
親会社株主に帰属 する四半期純利益	-33.9	-49.6	-24.7	-12.8	-108.3	-101.1

SHARP

4

- ・ 次のスライドは、主な「営業外損益」・「特別損益」・「法人税等」の概要です。
- ・ 当第3四半期は、「支払利息」の減少等もあり、「営業外損益」が改善しました。
- ・ また、「構造改革費用」や「減損損失」を「特別損失」に計上しました。

セグメント別売上高

(単位:十億円)

	2015年度								2015年度
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	今回 通期予想	前年比	(10/30) 通期予想
コンシューマー エレクトロニクス	201.9	233.6	204.2	-24.8%	639.8	-16.5%	870.0	-11.5%	870.0
エネルギー ソリューション	36.8	41.8	34.5	-35.6%	113.3	-42.4%	170.0	-37.2%	180.0
ビジネス ソリューション	80.6	91.7	88.8	+3.3%	261.2	+3.6%	360.0	+4.9%	350.0
電子デバイス	136.6	114.6	146.4	-10.4%	397.6	+23.1%	530.0	+13.6%	530.0
ディスプレイ デバイス	187.8	203.3	226.2	-5.0%	617.4	-11.7%	870.0	-4.1%	870.0
小計	643.9	685.1	700.3	-13.8%	2,029.4	-9.3%	2,800.0	-5.7%	2,800.0
調整額	-25.6	-23.7	-36.9	-	-86.3	-	-100.0	-	-100.0
合計	618.3	661.3	663.3	-13.0%	1,943.0	-7.1%	2,700.0	-3.1%	2,700.0

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

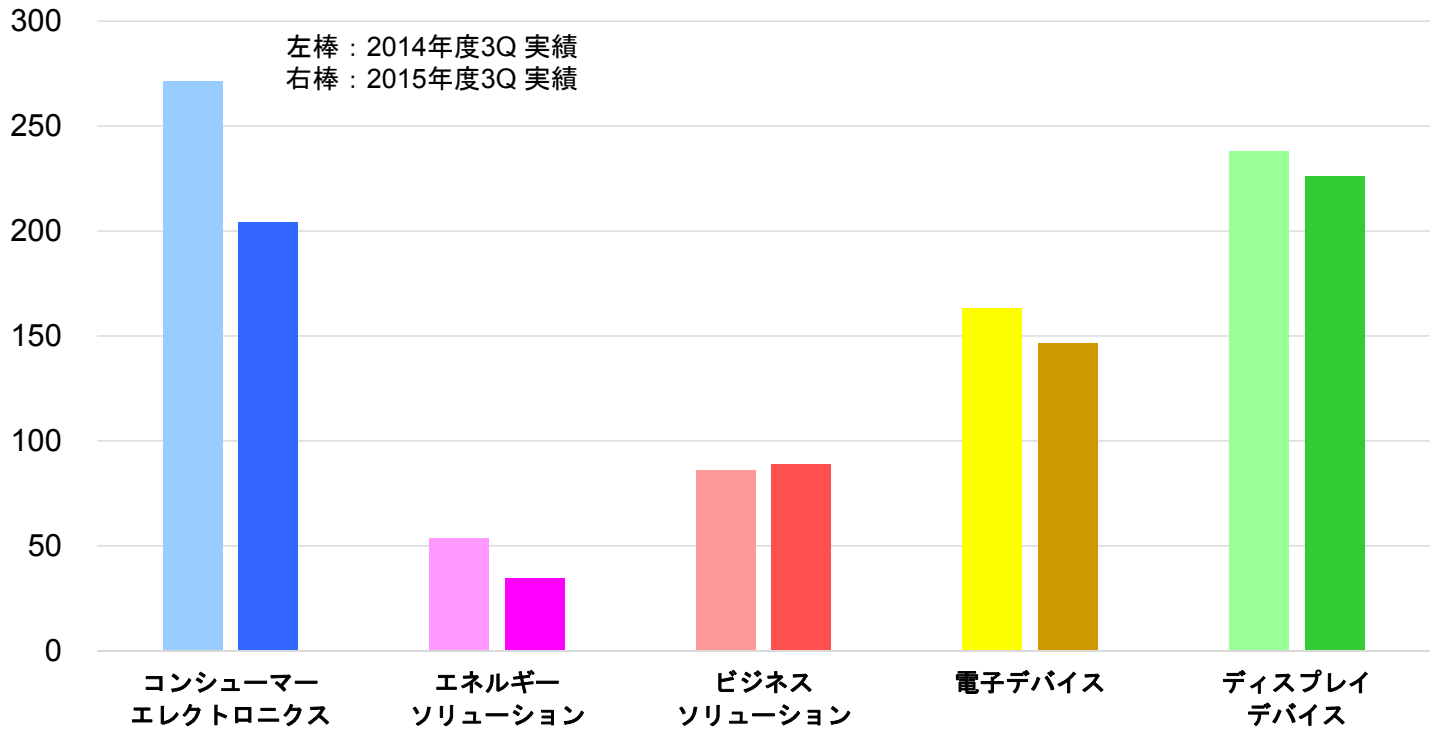
SHARP

5

- ・ 次のスライドは、セグメント別売上高の一覧です。
- ・ 今回、エネルギーソリューションとビジネスソリューションの通期予想を見直しています。

セグメント別売上高

(単位:十億円)



※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)

	2015年度								2015年度
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	今回 通期予想	前同比	(10/30) 通期予想
コンシューマー エレクトロニクス	-11.7 (-5.8%)	9.7 (4.2%)	7.5 (3.7%)	-15.9%	5.5 (0.9%)	-77.0%	20.0 (2.3%)	+4.8%	16.0 (1.8%)
エネルギー ソリューション	-3.9 (-10.7%)	1.3 (3.2%)	-5.0 (-14.7%)	-	-7.7 (-6.8%)	-	-7.0 (-4.1%)	-	3.0 (1.7%)
ビジネス ソリューション	6.8 (8.4%)	9.9 (10.8%)	7.1 (8.0%)	-7.0%	23.8 (9.1%)	+1.2%	38.0 (10.6%)	+21.4%	36.0 (10.3%)
電子デバイス	2.8 (2.1%)	5.1 (4.5%)	1.9 (1.4%)	-24.2%	10.0 (2.5%)	60.7倍	18.0 (3.4%)	26.6倍	18.0 (3.4%)
ディスプレイ デバイス	-13.7 (-7.3%)	-12.7 (-6.3%)	-10.7 (-4.7%)	-	-37.2 (-6.0%)	-	-30.0 (-3.4%)	-	-30.0 (-3.4%)
小計	-19.7 (-3.1%)	13.3 (2.0%)	0.8 (0.1%)	-97.0%	-5.4 (-0.3%)	-	39.0 (1.4%)	-	43.0 (1.5%)
調整額	-9.0	-9.7	-4.7	-	-23.5	-	-29.0	-	-33.0
合計	-28.7 (-4.7%)	3.5 (0.5%)	-3.8 (-0.6%)	-	-29.0 (-1.5%)	-	10.0 (0.4%)	-	10.0 (0.4%)

SHARP

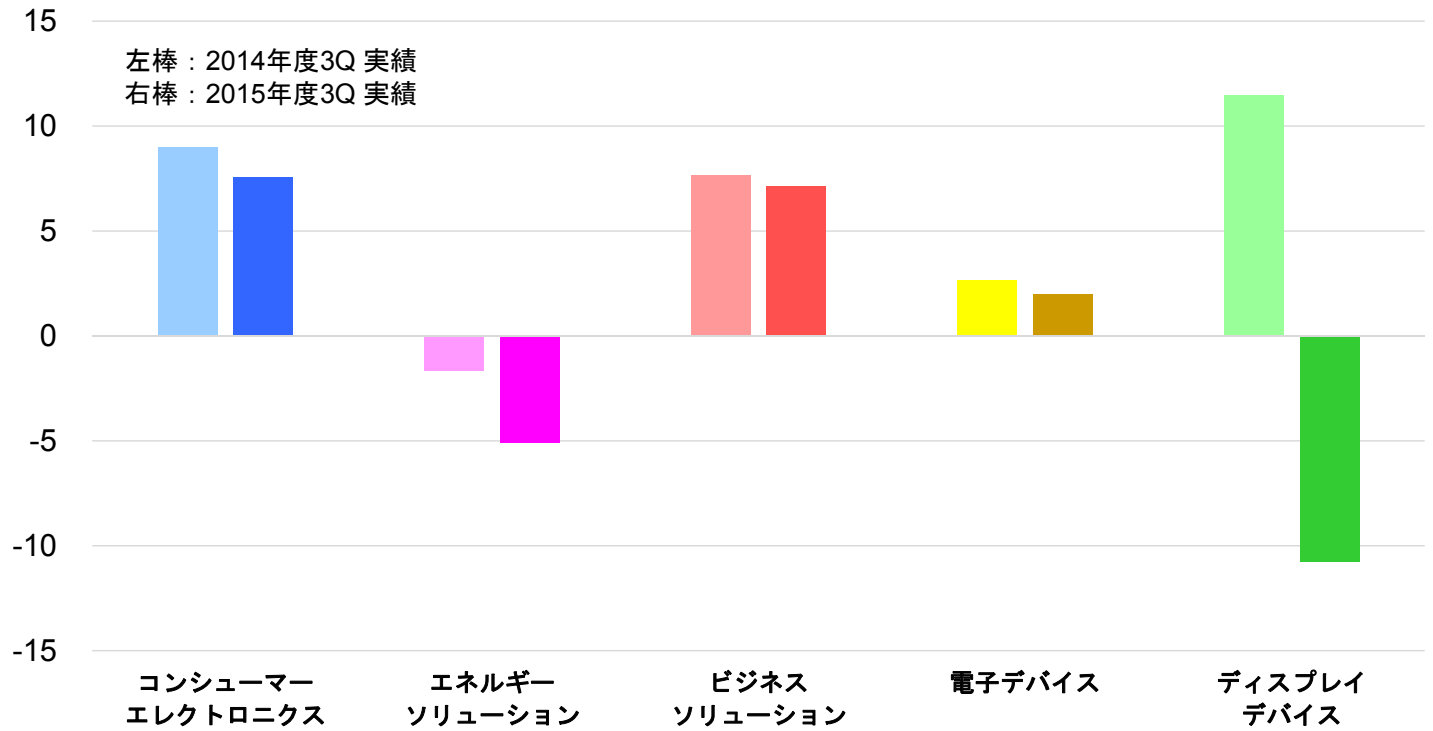
※()内の数字は営業利益率です。

7

- ・ 続いては、セグメント別営業利益の一覧になります。
- ・ 今回、売上の見直しを行ったエネルギーソリューション、ビジネスソリューション及びコンシューマーエレクトロニクスの通期予想を見直しています。
- ・ 各セグメントの売上高・営業利益の詳細については、後ほど説明いたします。

セグメント別営業利益

(単位:十億円)



連結貸借対照表推移

- ・現預金は、2015年9月末の1,750億円から2,345億円に増加
- ・自己資本比率は、2015年9月末の9.4%から8.6%に低下

(単位:十億円)

	2014年度	2015年度			2014年度	2015年度	
	3月末	9月末	12月末		3月末	9月末	12月末
現預金	258.4	175.0	234.5	支払手形・買掛金	423.8	365.0	362.9
受取手形・売掛金	414.0	382.4	306.2	短期借入金	840.0	638.5	637.4
たな卸資産	338.3	294.2	299.0	1年内社債	0.0	20.4	20.6
その他	288.3	298.1	260.9	その他	423.0	390.1	358.6
流動資産 計	1,299.1	1,149.8	1,100.8	流動負債 計	1,686.9	1,414.1	1,379.6
有形固定資産	400.5	377.1	368.4	社債	60.0	40.0	40.0
無形固定資産	42.4	42.2	41.7	長期借入金	53.4	40.4	40.2
投資その他資産	219.5	217.6	220.1	その他	116.9	111.5	111.1
固定資産 計	662.6	637.0	630.3	固定負債 計	230.4	191.9	191.4
繰延資産	0.0	0.0	0.0	純資産	44.5	180.9	160.2
資産合計	1,961.9	1,787.0	1,731.3	負債純資産合計	1,961.9	1,787.0	1,731.3
				自己資本比率	1.5%	9.4%	8.6%

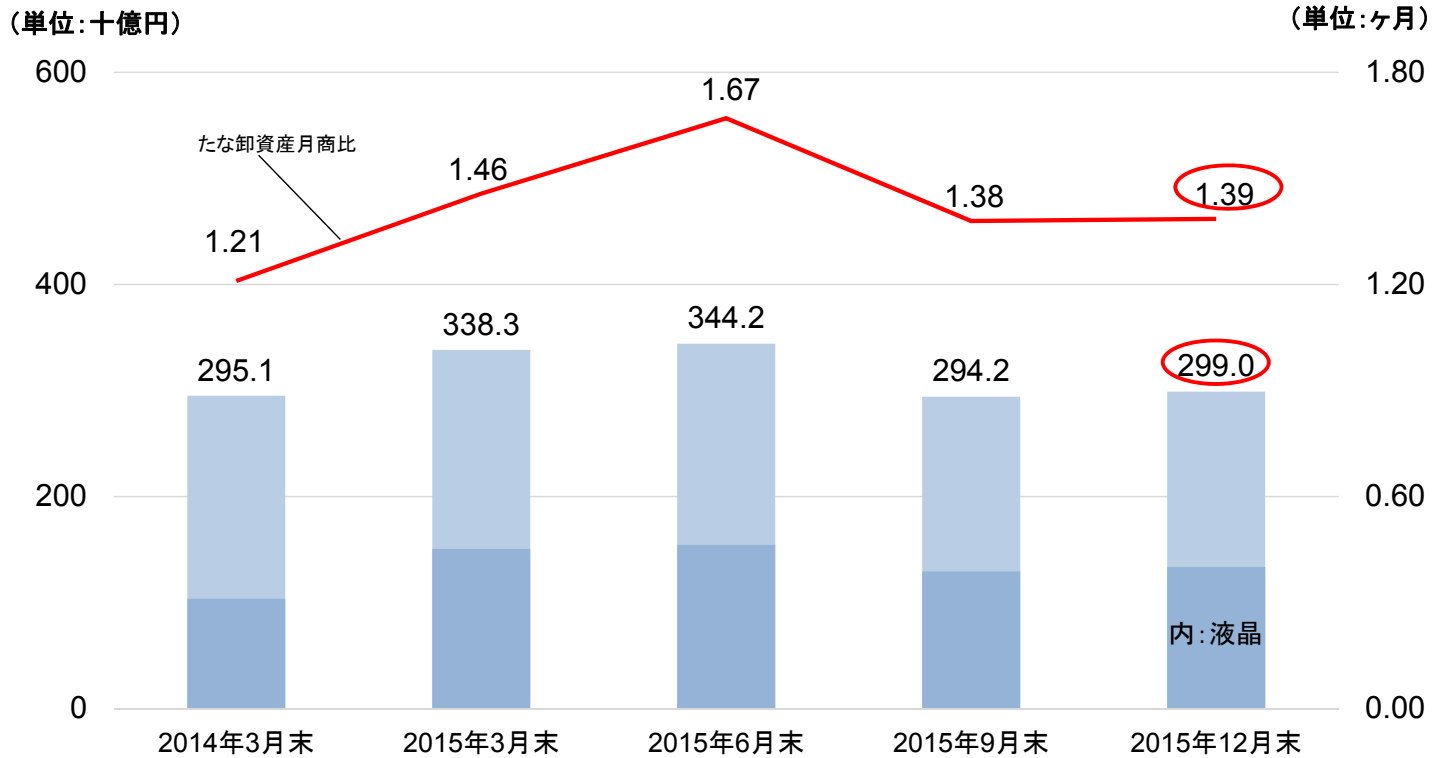
SHARP

9

- ・ 次のスライドは、貸借対照表の推移です。
- ・ 構造改革費用や減損損失の計上等もあり、第3四半期末の「純資産」は、第2四半期末に比べ206億円減少し、1,602億円となりました。
「自己資本比率」についても、第2四半期末の9.4%から8.6%に減少しました。

たな卸資産の推移

- ・たな卸資産は2,990億円で、2015年9月末比48億円増、
月商比はほぼ横ばい



SHARP

10

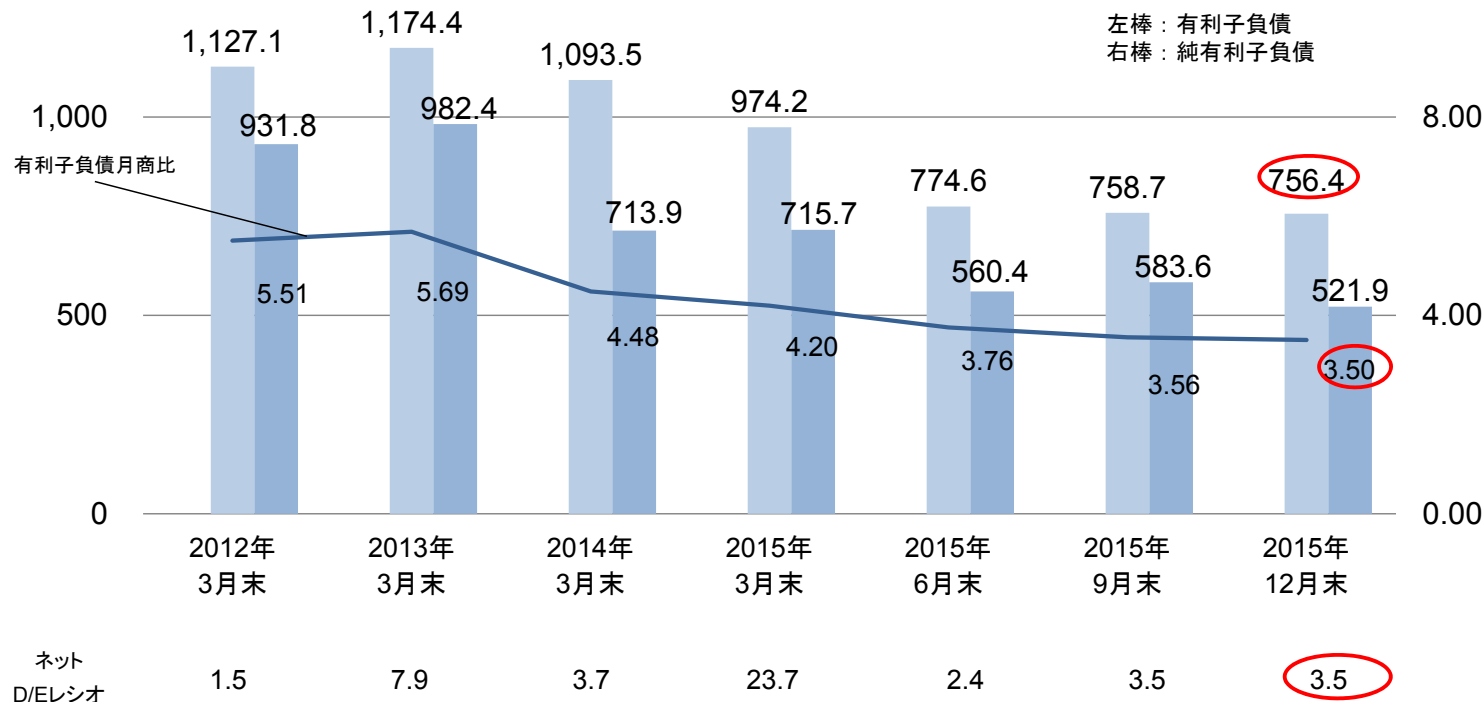
- ・ 次のスライドは、「たな卸資産」の推移です。
- ・ 第3四半期末の「たな卸資産」は、第2四半期末から48億円増の2,990億円となりました。
月商比については、ほぼ横ばいとなっています。

有利子負債の推移

- ・2015年12月末の有利子負債は、2015年9月末に対し22億円減少し、月商比は3.56ヶ月から3.50ヶ月に低下
- ・純有利子負債※は、2015年9月末の5,836億円から5,219億円に減少

(単位:十億円)

(単位:ヶ月)



※純有利子負債：有利子負債－現預金

SHARP

11

- ・ 次のスライドは、有利子負債の推移です。
- ・ 第3四半期末の有利子負債は、第2四半期末から22億円減少し、7,564億円となりました。
純有利子負債についても617億円減少し、5,219億円となりました。
- ・ 引き続き在庫の適正化を進めるとともに、設備投資の圧縮等に努め、キャッシュフローの改善を図ります。

中期経営計画の推進状況

・中期経営計画で発表した3つの重点戦略については、現在着実に進捗中

中期経営計画 3つの重点戦略

I	事業ポートフォリオの再構築
II	固定費削減の断行
III	組織・ガバナンスの再編・強化

現在の推進状況

米州テレビ事業 生産・販売から撤退 ブランドライセンスビジネスへ移行済
電子デバイス事業の生産体制の見直し
液晶事業の抜本的な構造改革の検討
本社(建物・土地)の譲渡契約を締結、 役員・従業員の給与削減・賞与カットを継続
カンパニー制を導入、 抜本的な人事改革(組織のフラット化・シンプル化) を推進

SHARP

12

- ・ 次のスライドは、先般公表した「中期経営計画」の3つの重点戦略の推進状況をまとめたものです。ご覧の通り、各施策とも、当初のスケジュール通り着実に実行しています。
- ・ 液晶事業の構造改革など経営再建に向けた取組みについては、本日開示しましたとおり、複数社と協議を行ってまいりましたが、本日現在、株式会社産業革新機構及び鴻海精密工業股份有限公司の2社に絞って協議を進めています。
今後1か月を目処に最終的な契約を締結できるよう協議してまいります。

Ⅱ．セグメント別情報

- ・ 続いてセグメント別情報についてご説明します。

カンパニーの目指す方向と取り組み成果

カンパニー	目指す方向	足元の取り組み/成果
コンシューマー エレクトロニクス	日本・アジアを主戦場とした 技術融合による 商品・事業の革新	- 国内4Kテレビ 市場シェア拡大中(10-12月期 14年:19.3%→15年:25.6%) - AIoTココロプロジェクトの推進 “シャープらしさ”のある新製品創出(RoBoHoN、ヘルシオ ホットクック等) - プラズマクラスター洗濯乾燥機が省エネ大賞を受賞
エネルギー ソリューション	地域のニーズに合わせた ソリューション事業への転換	- 業界初 蓄電池連携DCハイブリッドエアコンが省エネ大賞を受賞 - 太陽光発電システム(BLACK SOLAR+ルーフフィット設計・屋根全面システム)がグッドデザイン賞を受賞 - タイEPC事業拡大に向けた新会社の設立
ビジネス ソリューション	既存商品・顧客基盤の活用と 積極的投資拡大による ソリューションのグローバル展開	- 全国のコンビニエンスストアにある当社マルチコピー機でマイナンバー制度に対応した住民票などを取得できるサービスの展開 4K高精細80型など大型ディスプレイの群展開 - ウェアラブルEXPOへのレーザーMEMSプロジェクターモジュール出展など、次の成長の鍵となる新規事業の展開
電子デバイス	センシングを中核とした 付加価値領域へのシフト	- 生産効率の改善や固定費圧縮により、安定して利益を出せる体制の確立 - 付加価値領域へのシフト、新規デバイスの創出開始 - カラー暗視カメラの特長が生かせる分野へ販売開始 - 埃/PM2.5/環境など新規センサ群における新規顧客の獲得
ディスプレイ デバイス	技術優位性を活かした 安定顧客の獲得と 高付加価値パネルの拡大	- PC、車載、中型で事業拡大、収益性の高い事業体質へ移行 - 当社独自技術による差別化商材、新規商材の拡充 - 高付加価値パネルの拡大(FFDがグッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)を受賞)

SHARP

14

- ・ 次のスライドをご覧ください。
- ・ 中期経営計画で申し上げた目指す方向のもと、事業ポートフォリオの再構築を推進しており、すでに着実な成果も出てきています。
- ・ それではセグメント別詳細についてご説明します。

コンシューマーエレクトロニクス

(単位:十億円)

	2015年度							
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	通期 予想	前年比
売上高	201.9	233.6	204.2	-24.8%	639.8	-16.5%	870.0	-11.5%
営業利益	-11.7	9.7	7.5	-15.9%	5.5	-77.0%	20.0	+4.8%
(利益率)	(-5.8%)	(4.2%)	(3.7%)		(0.9%)		(2.3%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度3Q実績（前同比）	2015年度通期予想（10/30予想比）
- 売上高：24.8%の減収 - 営業利益：14億円の減益	- 売上高：変更なし - 営業利益：40億円上方修正

足元の取り組み
／成果

- 国内4Kテレビ 市場シェア拡大中(10-12月期 14年:19.3%→15年:25.6% ※)
- AIoTココロプロジェクトの推進
- “シャープらしさ”のある新製品創出(RoBoHoN、ヘルシオ ホットクック等)
- プラズマクラスター洗濯乾燥機が省エネ大賞を受賞

SHARP

※GfK調べ

15

- まず、コンシューマーエレクトロニクスです。
10月からのカンパニー制移行に伴い、従来個別表記していた「デジタル情報家電」「通信」「健康・環境」の3部門を今回から統合して表記しています。
- 売上高は、国内の4Kテレビや11月に発売した電気無水鍋「ヘルシオ ホットクック」などヘルシオシリーズの販売が好調に推移したものの、欧州の液晶テレビ事業がブランドライセンスビジネスに移行したことにより、前年同期比24.8%減の2,042億円となりました。一方、営業利益は、引き続き積極的に液晶テレビの構造改革を行ったものの、昨年来の構造改革効果やモデルミックス改善もあり第2四半期に続き黒字を確保しました。
- 当カンパニーでは、引き続き、AIoTで家電製品をロボット化して、もっと人に寄り添う存在に変えていくココロプロジェクトを推進し、「RoBoHoN」のような独自特長技術を融合した新商品の創出に取り組んでいきます。
- 通期予想については、液晶テレビ事業の構造改革に伴う収益改善、携帯電話新製品の売上寄与、PCI関連商品の販売増によるミックス改善などが見込めることから、営業利益を200億円に上方修正しています。

エネルギーソリューション

(単位:十億円)

	2015年度							
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	通期 予想	前年比
売上高	36.8	41.8	34.5	-35.6%	113.3	-42.4%	170.0	-37.2%
営業利益	-3.9	1.3	-5.0	-	-7.7	-	-7.0	-
(利益率)	(-10.7%)	(3.2%)	(-14.7%)		(-6.8%)		(-4.1%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度3Q実績（前同比）	2015年度通期予想（10/30予想比）
- 売上高：35.6%の減収 - 営業利益：34億円の減益	- 売上高：100億円下方修正 - 営業利益：100億円下方修正

足元の取り組み
／成果

- 業界初 蓄電池連携DCハイブリッドエアコンが省エネ大賞を受賞
- 太陽光発電システム(BLACK SOLAR+ルーフィット設計・屋根全面システム) がグッドデザイン賞を受賞
- タイEPC事業拡大に向けた新会社の設立

SHARP

16

- 次はエネルギーソリューションです。
- 国内における住宅用、産業用需要の減少などにより、売上高は、前年同期比35.6%減の345億円となりました。
- 営業利益は、ポリシリコンの評価替えを行ったこともあり、赤字となりました。
- 引き続き、中期経営計画で掲げたソリューション事業への転換に向け、各地域の市場ニーズに応じたエネルギーソリューションの提案を推進するとともに、蓄電池やHEMSの販売強化や地域活性化につながるメガソーラー発電事業など国内外におけるEPC事業の拡大に取り組んでまいります。
- 通期予想については、国内市場の需要減少や通期予想に織り込んでいなかったポリシリコンの評価替えを反映し、売上高、営業利益とも下方修正しています。

ビジネスソリューション

(単位:十億円)

	2015年度							
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	通期 予想	前年比
売上高	80.6	91.7	88.8	+3.3%	261.2	+3.6%	360.0	+4.9%
営業利益	6.8	9.9	7.1	-7.0%	23.8	+1.2%	38.0	+21.4%
(利益率)	(8.4%)	(10.8%)	(8.0%)		(9.1%)		(10.6%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度3Q実績（前同比）	2015年度通期予想（10/30予想比）
- 売上高：3.3%の増収 - 営業利益：5億円の減益	- 売上高：100億円上方修正 - 営業利益：20億円上方修正

足元の取り組み
／成果

- 全国のコンビニエンスストアにある当社マルチコピー機でマイナンバー制度に対応した住民票などを取得できるサービスの展開
- 4K高精細80型など大型ディスプレイの群展開
- ウェアラブルEXPOへのレーザーMEMSプロジェクターモジュール出展など、次の成長の鍵となる新規事業の展開

SHARP

17

- 次のスライドは、ビジネスソリューションです。
- 売上高は前年同期比3.3%増の888億円となりました。営業利益については、カラー複合機新製品導入に伴い、流通在庫適正化に向けたセルインの抑制を行ったことにより7.0%減の71億円となりましたが、依然として安定した収益性を維持しています。
- 引き続き、ハードのみならず、ソリューション販売やITサービスの拡大に取り組み、収益の拡大を目指してまいります。
- また、今後のさらなる成長に向け新規事業として立ち上げを推進しているロボットビジネスについては、警備ロボット、コンシェルジュロボット、業務用掃除機などが製品化され、着実に成果が出ています。引き続き、将来の収益基盤拡大に向けた取り組みを強化していきます。
- 通期予想については、3年ぶりにモデルチェンジしたカラー複合機の出荷が順調に進み、3月に向けてサプライ販売の拡大やそれに伴うミックスの改善、新規事業の寄与などが見込めるため、売上高を3,600億円、営業利益を380億円に上方修正しています。

電子デバイス

(単位:十億円)

	2015年度							
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	通期 予想	前年比
売上高	136.6	114.6	146.4	-10.4%	397.6	+23.1%	530.0	+13.6%
営業利益	2.8	5.1	1.9	-24.2%	10.0	60.7倍	18.0	26.6倍
(利益率)	(2.1%)	(4.5%)	(1.4%)		(2.5%)		(3.4%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度3Q実績（前同比）	2015年度通期予想（10/30予想比）
- 売上高：10.4%の減収 - 営業利益：6億円の減益	- 売上高：変更なし - 営業利益：変更なし

足元の取り組み
／成果

- 生産効率の改善や固定費圧縮により、安定して利益を出せる体制の確立
- 付加価値領域へのシフト、新規デバイスの創出開始
 - カラー暗視カメラの特長が生かせる分野へ販売開始
 - 埃/PM2.5/環境など新規センサ群における新規顧客の獲得

SHARP

18

- 続いて、電子デバイスです。
- 売上高は、前年同期比10.4%減の1,464億円となりました。
一方、営業利益は、前年同期比24.2%減の19億円となりましたが、
前年度に先行着手した構造改革の効果から、引き続き安定した収益を確保しています。
- また、中期経営計画で掲げたセンシングを中核とする付加価値領域へのシフトについても、
車載カメラ、監視カメラ、近接センサなどのセンサーデバイス分野で、ユーザーへの
デザインイン件数が増えるなど、着実に成果が進展しています。
- 引き続き、主力事業であるカメラモジュール事業の拡大や成長領域である新規デバイス・
高付加価値分野の拡大に取り組めます。
- 通期予想については、所要ダウンによるカメラモジュールの販売減が
想定されるものの、付加価値の高いセンサーデバイスなどの販売増に伴うミックス改善が
図れるため、売上高、営業利益とも据え置いています。

ディスプレイデバイス

(単位:十億円)

	2015年度							
	1Q	2Q	3Q	前同比	1Q-3Q 累計	前同比	通期 予想	前年比
売上高	187.8	203.3	226.2	-5.0%	617.4	-11.7%	870.0	-4.1%
営業利益	-13.7	-12.7	-10.7	-	-37.2	-	-30.0	-
(利益率)	(-7.3%)	(-6.3%)	(-4.7%)		(-6.0%)		(-3.4%)	

※セグメント間の内部売上高又は振替高を含んでいます。

2015年度3Q実績（前同比）	2015年度通期予想（10/30予想比）
- 売上高：5.0%の減収 - 営業利益：222億円の減益	- 売上高：変更なし - 営業利益：変更なし

足元の取り組み
／成果

- PC、車載、中型で事業拡大、収益性の高い事業体質へ移行
- 当社独自技術による差別化商材、新規商材の拡充
- 高付加価値パネルの拡大(FFDがグッドデザイン金賞(経済産業大臣賞)を受賞)

SHARP

19

- 最後はディスプレイデバイスです。
- 売上高は、大手スマートフォン顧客向けの販売は好調に推移したものの、中国市場向けスマートフォン用パネルやテレビ用大型液晶パネルの販売減及び価格下落の影響により、前年同期比5.0%減の2,262億円となりました。
- 営業利益は、売上減少に加え、一部工場において稼働調整を継続したことやコストダウンへの取り組みの遅れから▲107億円となりました。
- 中国スマートフォン向けの収益改善は遅れているものの、従前から取り組んできたタブレットやPC向けなど、付加価値の高い中型液晶パネルへのシフトは着実に進捗しています。
- 通期予想については第3四半期までの実績を織り込み、売上高、営業利益とも据え置いております。第4四半期には新機種向けのインセルタッチパネルや中型液晶パネルの販売拡大に伴うミックスの改善、稼働率の改善、コストダウンや経費削減により、収益は改善する見込です。

ディスプレイデバイス

2015年度下期の収益改善策の進捗状況

下期の収益改善に向けた取り組み

- 全方位型の顧客戦略からの脱却
 - 売上上位顧客へのリソース集中による顧客ポートフォリオの組み換え
 - 深センの新設現地販社を軸としたユーザーサポート強化(重点顧客毎の専任体制)
(開発モデル数:上期比1.8倍)
- ノートPC/IA等、中型を中心とする高付加価値分野へのカテゴリーシフト
 - 高精細/狭額縁、低消費電力モデルのラインナップ拡充
(中型液晶売上高:上期比1.6倍)
(ノートPC/タブレット用市場シェア:
上期14%→下期25%)
- サプライチェーン全体に亘る抜本的なコスト構造改革の推進(コストダウン率:上期比2倍)
 - 開発購買による材料費/加工費低減
 - 重点ユーザーとのコスト低減共同PJの推進
 - タッチパネルコントローラーメーカーとの協業によるインセルのユーザーサポート強化
(インセル液晶搭載モデル数:上期比4倍)

進捗状況及び見通し

- 中国スマホ市場の環境変化もあり、プロジェクトの変更等が発生
- ボラティリティの高い中国スマホメーカーをさらに絞り込み、中型分野へのリソースシフトを行う
(下期開発モデル数:上期比1.3倍)
- タブレット・車載向けは好調に伸長見込みだが、ノートPC・ゲーム市場等は伸び悩み
- スマホ分野からのリソースシフトにより体制強化
(下期中型液晶売上高:上期比1.3倍)
- 中型パネルの生産は着実に拡大、次期モデル立ち上げ前倒し等により更なる需要拡大を図る
(ノートPC/タブレット用市場シェア:
上期14%→下期19%)
- スマホ製品の販売減の影響もあるも、部材の標準化/共通化等を促進し、上期並みの水準を確保
(下期コストダウン率:上期比1.0倍)
- 大手ユーザーへの新規採用等の成果、今後、より競争力のあるインセルの展開を加速
(下期インセル液晶搭載モデル数:上期比3倍)

スマホ用液晶の販売減

競争力・コスト

SHARP

20

- 次のスライドは、前回決算発表時にお示した下期の改善策の進捗状況と今後の取り組みをまとめたものです。
- 今後の取り組みとして、収益性の低いスマートフォン向け小型パネルやテレビ向けの大型パネルから、当社の強みが活かせるPC、車載、IA向けなどの中型パネルを中心とした事業ポートフォリオに変えていきます。
このため、本日リリースしましたとおり、亀山第2工場における高付加価値な中小型液晶パネルの生産能力並びにさらなる性能の向上を図る設備投資を行います。
- また、固定費の削減やコストダウンの推進を図り、安定的な黒字化に向けた構造改革に取り組んでいきます。

Ⅲ. 補足情報

- ・ なお補足資料として、「セグメント別売上高・営業利益」「主要商品販売高」等の実績をまとめておりますのでご確認下さい。
- ・ 当社は依然、厳しい経営状況にありますが、引き続き様々な構造改革の取り組みを加速させ、通期公表値の必達に邁進してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

セグメント別売上高・営業利益

(単位:十億円)

	2015年度 売上高					2015年度 営業利益			
	上期	下期予想	通期予想	前年比		上期	下期予想	通期予想	前年比
コンシューマー エレクトロニクス	435.5	434.4	870.0	-11.5%	コンシューマー エレクトロニクス	-1.9 (-0.5%)	21.9 (5.1%)	20.0 (2.3%)	+4.8%
エネルギー ソリューション	78.7	91.2	170.0	-37.2%	エネルギー ソリューション	-2.6 (-3.4%)	-4.3 (-4.8%)	-7.0 (-4.1%)	-
ビジネス ソリューション	172.3	187.6	360.0	+4.9%	ビジネス ソリューション	16.7 (9.7%)	21.2 (11.3%)	38.0 (10.6%)	+21.4%
電子デバイス	251.2	278.7	530.0	+13.6%	電子デバイス	8.0 (3.2%)	9.9 (3.6%)	18.0 (3.4%)	26.6倍
ディスプレイ デバイス	391.2	478.7	870.0	-4.1%	ディスプレイ デバイス	-26.4 (-6.8%)	-3.5 (-0.7%)	-30.0 (-3.4%)	-
小計	1,329.0	1,470.9	2,800.0	-5.7%	小計	-6.3 (-0.5%)	45.3 (3.1%)	39.0 (1.4%)	-
調整額	-49.3	-50.6	-100.0	-	調整額	-18.8	-10.1	-29.0	-
合計	1,279.6	1,420.3	2,700.0	-3.1%	合計	-25.1 (-2.0%)	35.1 (2.5%)	10.0 (0.4%)	-

SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

22

四半期 セグメント別売上高・営業利益

(単位:十億円)

	2015年度 売上高					2015年度 営業利益			
	1Q	2Q	3Q	4Q 予想		1Q	2Q	3Q	4Q 予想
コンシューマー エレクトロニクス	201.9	233.6	204.2	230.1	コンシューマー エレクトロニクス	-11.7 (-5.8%)	9.7 (4.2%)	7.5 (3.7%)	14.4 (6.3%)
エネルギー ソリューション	36.8	41.8	34.5	56.7	エネルギー ソリューション	-3.9 (-10.7%)	1.3 (3.2%)	-5.0 (-14.7%)	0.7 (1.3%)
ビジネス ソリューション	80.6	91.7	88.8	98.7	ビジネス ソリューション	6.8 (8.4%)	9.9 (10.8%)	7.1 (8.0%)	14.1 (14.3%)
電子デバイス	136.6	114.6	146.4	132.3	電子デバイス	2.8 (2.1%)	5.1 (4.5%)	1.9 (1.4%)	7.9 (6.0%)
ディスプレイ デバイス	187.8	203.3	226.2	252.5	ディスプレイ デバイス	-13.7 (-7.3%)	-12.7 (-6.3%)	-10.7 (-4.7%)	7.2 (2.9%)
小計	643.9	685.1	700.3	770.5	小計	-19.7 (-3.1%)	13.3 (2.0%)	0.8 (0.1%)	44.4 (5.8%)
調整額	-25.6	-23.7	-36.9	-13.6	調整額	-9.0	-9.7	-4.7	-5.4
合計	618.3	661.3	663.3	756.9	合計	-28.7 (-4.7%)	3.5 (0.5%)	-3.8 (-0.6%)	39.0 (5.2%)

SHARP

※()内の数字は営業利益率です。

23

主要商品販売高

(単位:十億円)

	2014年度			2015年度			
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想	前年比
液晶テレビ	189.1	180.8	370.0	154.6	155.3	310.0	-16.2%
台数(百万台)	3.60	3.43	7.03	2.99	2.90	5.90	-16.2%
携帯電話	85.9	107.6	193.6	83.5	76.4	160.0	-17.4%
台数(百万台)	2.41	3.15	5.56	2.26	1.73	4.00	-28.1%
冷蔵庫	47.9	45.6	93.5	48.2	48.7	97.0	+3.7%
エアコン	42.1	21.3	63.5	36.0	27.9	64.0	+0.7%
複写機・複合機	73.4	78.5	152.0	78.2	81.7	160.0	+5.2%
CCD・CMOSイメージャ	103.5	235.5	339.1	198.9	231.0	430.0	+26.8%

四半期 主要商品販売高

(単位:十億円)

	2014年度				2015年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 予想
液晶テレビ	85.7	103.3	104.3	76.5	64.1	90.5	81.8	73.5
台数(百万台)	1.73	1.86	1.74	1.68	1.41	1.58	1.72	1.17
携帯電話	49.6	36.2	64.1	43.5	44.1	39.4	27.4	48.9
台数(百万台)	1.23	1.17	1.79	1.35	1.01	1.25	0.54	1.18
冷蔵庫	23.9	24.0	22.1	23.4	23.0	25.1	21.1	27.5
エアコン	23.6	18.4	8.0	13.3	20.6	15.3	8.2	19.7
複写機・複合機	34.3	39.1	38.2	40.3	37.2	40.9	25.0	56.7
CCD・CMOSイメージャ	38.8	64.7	129.3	106.2	110.8	88.0	122.5	108.4

設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2014年度			2015年度			
	上期	下期	通期	上期	下期予想	通期予想	前年比
設備投資	31.2	31.3	62.6	20.9	39.0	60.0	-4.2%
内:液晶	12.9	19.0	31.9	8.9	19.0	28.0	-12.4%
減価償却費	49.9	52.6	102.6	33.7	46.2	80.0	-22.0%
研究開発費	65.8	75.1	141.0	68.6	71.3	140.0	-0.7%

(単位:円)

為替レート	2014年度			2015年度	
	上期	下期	通期	上期	下期予想
米ドル	102.05	115.83	108.94	120.80	120.00
ユーロ	137.41	137.14	137.28	133.57	135.00

四半期 設備投資・減価償却費等

(単位:十億円)

	2014年度				2015年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q予想
設備投資	14.5	16.6	9.3	22.0	9.7	11.1	8.2	30.8
内:液晶	5.7	7.1	4.3	14.7	3.8	5.1	4.9	14.1
減価償却費	24.4	25.5	26.5	26.0	18.0	15.7	17.0	29.2
研究開発費	34.4	31.4	38.1	37.0	36.3	32.3	33.5	37.8

(単位:円)

為替レート	2014年度				2015年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
米ドル	101.16	102.93	113.55	118.10	120.37	121.24	120.51
ユーロ	138.56	136.26	141.59	132.68	132.66	134.48	131.46

地域別 海外売上高

上段:売上高 (十億円)
下段:構成比 (%)

	2014年度			2015年度
	上期	下期	通期	上期
米州	165.6 19.9%	155.2 15.8%	320.9 17.7%	160.0 18.0%
欧州	71.4 8.6%	71.0 7.2%	142.5 7.8%	69.9 7.8%
中国	487.8 58.6%	653.0 66.3%	1,140.8 62.8%	554.3 62.2%
その他	107.7 12.9%	105.6 10.7%	213.4 11.7%	106.4 12.0%
合計	832.7 100.0%	985.1 100.0%	1,817.8 100.0%	890.7 100.0%